

活動するときのベストに身をつつみ笑顔をみせる新田さん



仲間とともに40年 ベテランハンターがくらしを守る



はじめ
新田 肇さん (66歳)

金ヶ崎町六原在住

農家。稲作と酪農を営む傍ら金ヶ崎町猟友会の副会長として若手の会員をまとめ上げ有害鳥獣による農作物・人的被害の防止に努めている。

金ヶ崎町猟友会の副会長を務める肇さん。親戚の影響で幼いころから狩猟が身近にあったことや、クレー射撃に堪能だったことから、昭和53年に猟友会へ加入した。加入当時は町内に80人いた会員も、一時は9人まで減った。肇さんの精力的な募集活動と持ち前の面倒見の良さから、酪農仲間を中心に、現在は17人まで会員を増やした。酪農家の肇さんの一日は搾乳から始まる。仲間から、クマの出没情報や捕獲情報が肇さんのもとに入ると、作業もそこそこに打ち切り、現場に急行。狩猟歴40年を超えた知識と経験を、背中若手会員に教える。

有害鳥獣対策は危険と労力がかかる。重いワナを車に乗せて移動し、農作物被害があった現場や人的被害の恐れのある現場に設置する。ワナも毎日確認するため時間もかかる。過去には、ワナにかかったクマの周りにもう1頭のクマが興奮状態で動き回っていたこともあったという。最近では若手の会員が増えたことで、分担して見回りを行えるようになった。

これから山菜採りで山に入る機会が多くなる。「山菜採りに夢中になってしゃがんでいると体が動かない。鈴だけでなく音が出るものも身につけてほしい」と語る肇さん。猟友会では新規の銃取得者への助成も行っており、共に活動する仲間を募集している。

広報日記



4月の人事異動により広報担当になりました。皆さまに親しみやすく読みやすい広報を目指してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

広報担当となり、久しぶりに母校を訪れました。まさか広報担当として母校の入学式を取材する日が訪れるなんて想像もしていませんでした。当時の担任の先生はさすがにいらっしやいませんでしたが、小学生の時の楽しかった思い出は、社会人になっても覚えているものです。

小学生の時に30年後に向けてタイムカプセルを埋めました。同級生とともに開けるのが楽しみです。(村口)

3月31日現在	
人口と世帯	※()内は前月比
人口	15,550人 (-36)
男	7,944人 (-1)
女	7,606人 (-35)
世帯数	6,101世帯 (+21)